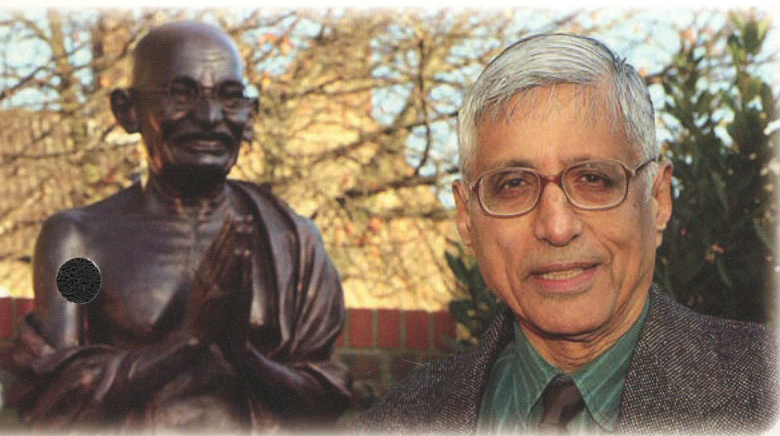


◇ 目次 ◇

IC インターナショナル会長の年頭挨拶
【予告】 ラジモハン・ガンジー氏講演
& IC 国際会議 in 三浦
日本インド共催 CIB 会議 2009 レポート
年末総会 & 懇談会レポート

2010 年活動予定
第 16 回セミナー in 唐津 (ミニ HOHO) のお知らせ
【予告】 スイス・コー世界大会 2010



2010 年《年頭の挨拶》 創造力と勇気を持って前進しよう

ラジモハン・ガンジー
IC インターナショナル会長

数十年を超えるモラル・アンド・スピリチュアル・リアー
マメント (現 IC) との関わりを持つ者として、人々や国々の
考え方・在り方を変革するための多くの努力を目の当りに
し、そして、参画してきました。

例えば、戦後の日本が敵国だった国々と和解できるよう支援するための大胆な戦略から、1964年3月にインドで行った、“清く強く融合したインド”を訴えた行進、更に、スイスのコー本部でのフォーラムを通じて、“人間の安全保障” (Human Security) を強めるための現在の努力といったものです。その他にも数え切れない程の事例がありますが、それらは全て私達の受け継いできた遺産です。このような背景の下に、ICの未来をどのようにして描くことが出来るのでしょうか。

2010年には、新しい局面に対し影響力のある出来事が起る可能性が秘められていると思います。
来る7月、スイス・コーでの第3回“人間の安全保障”フォーラムで採択される予定の“コー宣言” (Caux Declaration) は、数多くの人々に行動するよう、そして、生き方、考え方を変えるよう訴えるものとなるでしょう。それが真に影響を与えるためには、ICに関わる全ての人々が支える必要があります。それ以上に、この地球、そして地上に変革をもたせたいと願う、更により多くの仲間の支持が必要となるでしょう。

私は妻ウシャと共に、3月のインドネシアをスタートとし、南アフリカ、ルーマニア、ウクライナ、ノルウェー、メキシコ、日本、その他の国々へと数か月の旅に出ます。この旅は、‘世界の良心の連帯’に加わって欲しいと促すものです。また、各々の国のICのチームのエネルギーを感じ、共に学び、眼前の課題への答えを共に見出すための、榮譽ある機会として捉えています。

今日、宗教や文化の違いに起因する分裂、‘テロによる戦い’、経済的な強者と絶対的な貧困層との溝など多くの問題に直面しており、それらの解決のためには、優れたアイデアが必要です。しかし、アイデアに骨子を与え、共に働く確信を持った人々の存在を知らしめることなく、アイデアだけで多様な人々を結集させることは出来ません。

私達に与えられた挑戦は、私の祖父マハトマ・ガンジーが不動の信仰心をもって行ったように、毎日、私たち一人ひとりの中の絶対的な叡智、内なる良心の声を促し、天与の推進力を求めながら、“変えたいと思うような世界への変革の源になる”ために、目に見えるような行動を起こす存在となることです。

新年に当たり、あらゆる機会の窓が開かれ、私たちが創造力と勇気を持ってそれに対応することが出来るように祈りたいと思います。(2010年 年頭の挨拶より抄訳)

ラジモハン・ガンジー氏 プロフィール

1935年マハトマ・ガンジーの孫として、ニューデリーに生まれる。ジャーナリスト、歴史家、元インド上院議員、元国連人権委員会インド政府代表。現在、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校、南アジア中近東研究所教授。

《予告》 ガンジー氏による特別講演会 5月12日(水)

国際会議に先立ち5/12(水)には、憲政記念館(千代田区・永田町)でガンジー氏による特別講演会も予定されています。

第33回 IC 国際会議 (三浦海岸)

2010年5/15(土)-16(日) 開催決定

「世界に目を向けよう！一人ひとりのチェンジ&アクション」

特別ゲストとしてIC インターナショナルの会長であるラジモハン・ガンジー氏をお招きし、IC活動に深く関わってこられたウシャ夫人と共にお話をして頂きます。その他、韓国・カンボジア・ケニア・中国・ベトナムからリーダーシップの訓練を受けた青年たちが来日し、自らの体験などを語ってくれます。また会議後、青年たちは東京・小田原・福岡などの小・中学校、大学等で、日本の学生たちと国際交流プログラムを行うため、7月中旬まで滞在します。

～国際IC日本協会では、日本で活動する青年たちのホストファミリーを募集しています。ご関心のある方は、TEL03-5429-1156(IC事務局)まで～

回印共催会議レポート

インド CIB 会議に参加して

松井 保幸 (中日本高速道路(株)広報部渉外室室長)

11月20～24日にインドのアジアプラトール IC センターで開催された CIB 国際会議に参加しました。「信頼と誠実さを共通のビジネス慣行として取り入れるには」をテーマに開かれた今回の会議には、13の国・地域から約140名、日本からは現地参加の方々を含め開催国インドに次ぐ13名が参加しました。

開会式では、基調講演でタタ社幹部から、同社にとって信用と誠実さが重要な行動規範であることなどが紹介されるとともに、矢野会長がビデオを通じて「徳義ある経済活動を実現するためには、企業経営者や関係者が高い志を持ち、国際的な場で意見交換していくことが重要」と呼びかけました。また、全体会議では、各国の専門家・企業経営者と共に、原ディプロマット社社長が議長を務め、佐野横河電機企業倫理・CSR部長、豊島全日本空輸企画室部長、そして、私が各社の企業理念や環境保全に関する取り組みなどを発表し、日本企業のレベルの高い取り組みに多くの会議参加者から賞賛や賛同の意見が寄せられました。



▲日本の伝統文化(尺八)を披露



▲日本からの参加者たち

特に印象に残ったことは、ホストの皆様の大変心のこもったおもてなしを受けたこと、食事時間やイベントへの参加を通じて会議参加者同士がまるで旧知の間柄のように打ち解けた関係を持つことができたことです。その結果、CIB会議は単なる情報交換や最新知識を得るだけの会議ではなく、自らの行動を振り返り、会議参加者と共に決意を新たにし、個人としての意識改革を促す大変大きなパワーとなりました。

* CIB 会議への日本からの参加に際しては、(財) MRA ハウスより特に通訳費用をカバーするための助成金を頂きました。ここに改めて御礼申し上げます。

2010年 年間活動予定表

3/6(土)-7(日)	第16回日本ミニ HOHO in 唐津
3/13(土)	IC 総会 & コンサートと懇親会
5/6(木)頃	海外からの青年チーム4名来日、2カ月半滞在予定
5/10(月)	ラジモハン・ガンジー夫妻来日
5/11(火)	ラジモハン・ガンジー夫妻 歓迎会 (東海大学校友会館)
5/12(水)	ラジモハン・ガンジー氏 来日記念講演会 (憲政記念館)
5/15(土)-16(日)	第33回 IC 国際会議 ラジモハン・ガンジー夫妻 講演他
5月下旬~7月中旬	海外からの青年チームによる学校訪問 東京、小田原、福岡、他
7/18(日)	IC 交流会 (IC ハウス)
7月28日-8月2日	第16回 IC アジア太平洋青年会議 (APYC) マレーシア
7月-8月	第64回 コー世界大会
8月下旬	第7回 東北アジア青年フォーラム (韓国)
9月	IC 交流会 (海外会議参加報告会)
10月	訪中プログラム (中国国際交流協会による招へい)
10/23(土)-24(日)	日本ミニ HOHO in 天城
12月	IC 総会 & 懇親会 (IC ハウス)

年末総会&懇親会レポート 総会に彩りをそえた歌・寸劇・静かな時間

チェ・ヒジン (韓国 IC)

「静かな時間をちゃんと持っている？」
ついでの間まで自分が自分に問いかけていたことだった。ICに出会って人との交流だけではなく本当の自分と向き合う、自分が今歩いている道が正しいのかを教えてくださいましたのは他人ではなく「静かな時間」だった。「心の声に耳を傾ける」ということを最初に聞いた時は、難しそうでなかなかやる気にはならなかった。ずっと頭だけで決めて来た私にとって、人の根本的なところ、つまり「自分の心」から悩みや心配事への答えを見出すことは不思議に思った。でも毎日のように「静かな時間」を持つうちに、「誰にも頼らず自らの力で解答を見付け出す」という意味が少しずつ分かるようになった。昨年12月のIC総会で「静かな時間」についてのことを皆さんに伝えられたことは自分にとって、もう一度その大切さを感じられる有益な時間だったので有難く思う。そして今回の総会でとても良かったことは学生たちと一緒に歌や寸劇を披露できたこと。いつも外国のICメンバーたちが演じた歌と寸劇を今回初めて日本の若い人達が見せてくれた。



▲わかりやすいスライドを使って、静かな時間のプレゼンテーション



▲総会の様子。今回会場はICハウスにて行いました



▲ICコーラス隊の自主練習の様子♪



▲チャリティーバザーも併催。ご協力いただいた方々ありがとうございました

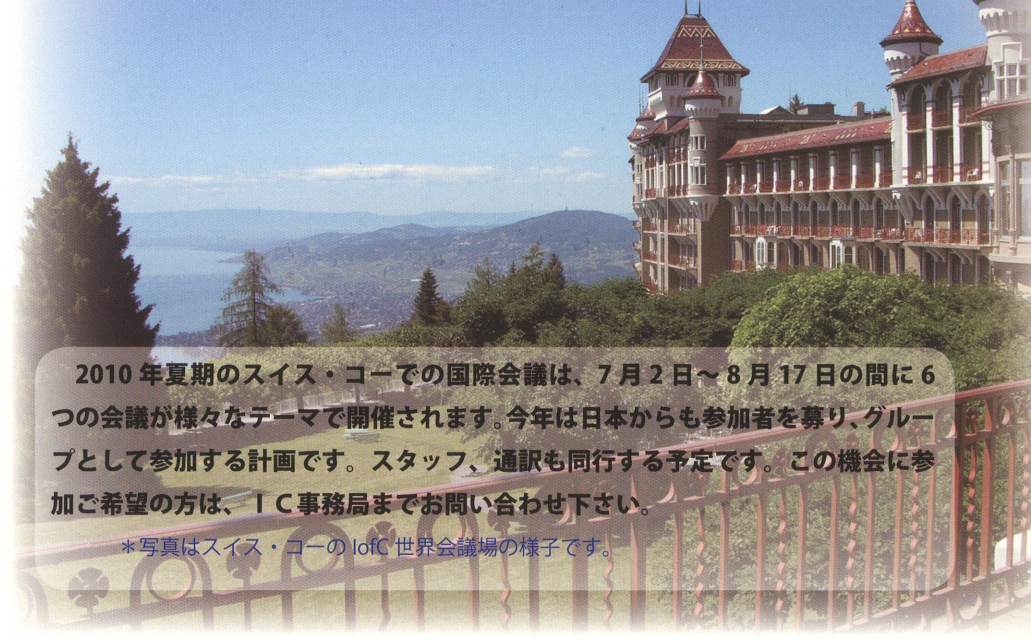
特にコーラスは週末ICハウスに集まって皆で楽しみながら練習をしたことが一つの良い思い出になり、このような機会ですべてと交流が出来たことが一番嬉しかった。これからも日本ICの皆さんにいろいろな活動に参加していただき、様々なICの考えを十分理解していただきたいと思う。



▲今回の参加者は、上は90歳から、下は0歳児と年齢層の広い会となりました



《予告》スイス・コー世界大会



2010年夏期のスイス・コーでの国際会議は、7月2日～8月17日の間に6つの会議が様々なテーマで開催されます。今年は日本からも参加者を募り、グループとして参加する計画です。スタッフ、通訳も同行する予定です。この機会に参加ご希望の方は、IC事務局までお問い合わせ下さい。
*写真はスイス・コーのIC世界会議場の様子です。

《お詫びと訂正》

前号の上沼美由紀さんの記事に誤りがありました。現在は(財)国際協力推進協会には所属されておりませんので、訂正してお詫びいたします。

〈入会のご案内〉

IC(Initiatives of Change...前身はMRA (Moral Re-Armament)。1938年にロンドンで発足して以来、く対立する相手や国を変えたいと思うなら、まず自分や自国から変わるべきである」という理念に基づき、あらゆる民族、宗教、文化の根底に流れる共通の倫理観(モラル)を普遍的な「正直・純潔・無私・愛」という4つの絶対標準としてまとめ、それをもとに世界各国で紛争等の問題解決に不可欠な相互の信頼関係を醸成する活動を進めてきました。国連の認定を受けた国際NGOとして、世界50カ国以上で活動しています。

当協会は皆様からの会費及び寄付金により運営されています。お寄せ頂いた浄財により内外の未来を担う青年たちの育成に寄与することを願っております。ぜひご入会頂き、ICの活動にご参加・ご支援下さいますようお願い致します。

- 正会員 (議決権を行使できます)
- 個人会員 年額 6,000円
- 法人会員 年額 50,000円
- 賛助会員
- 個人会員 年額 3,000円以上
- 法人会員 年額 50,000円(一口)以上



▲ICハウス(東京都世田谷区)

会費・寄付金の振込先
1. ゆうちょ銀行
郵便振替口座番号 00180-0-38289
口座名 社団法人国際IC日本協会
2. みずほ銀行渋谷中央支店 普通預金
口座番号 162-4945790
口座名 社団法人国際IC日本協会

@編集後記 CIB会議のレポート掲載が遅くなったことをお詫びします。編集者たちの様々なアイデアを今後のICたよりに反映していきたいと思っておりますので、皆様からのご意見ご要望をお待ちしています。
広報委員：海老原真美、岡本さくら、高橋伸明・久子、チェ・ヒジン、長野清志、弓場睦

《予告》《第16回日本ミニ HOHO in 唐津》 心を育てるネットワーク第16回セミナーのお知らせ



日時：2010年3月6日(土)～7日(日)
会場：唐津シーサイドホテル
〒847-0017 佐賀県唐津市東唐津4-182

ゲストに、今野由梨 ダイヤル・サービス(株)社長 と 矢野弘典 当協会会長 とをお招きします。海に面した素晴らしい環境で、参加者の話しに耳を傾け、明日への活力を養う時を持ちます。